

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	あらゆる場面でご利用者おひとりお一人の尊厳を守るケアを目標にしているが、態度や言葉づかいにおいて、問題となる場面がみられる。マナーやプライバシーへの配慮については、日々顧みる事が課題と考えています。	①「親しき仲にも礼儀あり」を忘れずに、適切な距離感を持った節度あるケアを行えるようになる。 ②ご利用者に対して尊厳を守るケア・きめ細やかな配慮のある対応が引き続きできるようになる。	①内部・外部研修にマナー研修を取り入れる。またマナーアップ月間などを取り入れ、尊厳を意識し、ケアに活かす工夫をする。	12ヶ月
2	36	認知症の方への理解が十分でない。	①認知症について学ぶ (自己学習又は施設内・外研修)	①内部・外部研修に認知症研修を取り入れる。 ②ユニットで認知症ケア事例検討をしてみる。	12ヶ月
3	31	重度化による医療依存度の必要な入居者に対する医療的知識が不十分である。	急変時の適切な対応が出来るようになる	① 毎日の状態観察で異常の早期発見が出来るスタッフになる。 ②介護職員が付添い受診し、病院の医療職に的確な情報を伝えられるようになる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。